

頌栄短期大学図書館

阪神淡路大震災

復旧報告

1995年11月24日

震災文庫

8

164

震災文庫 8-164

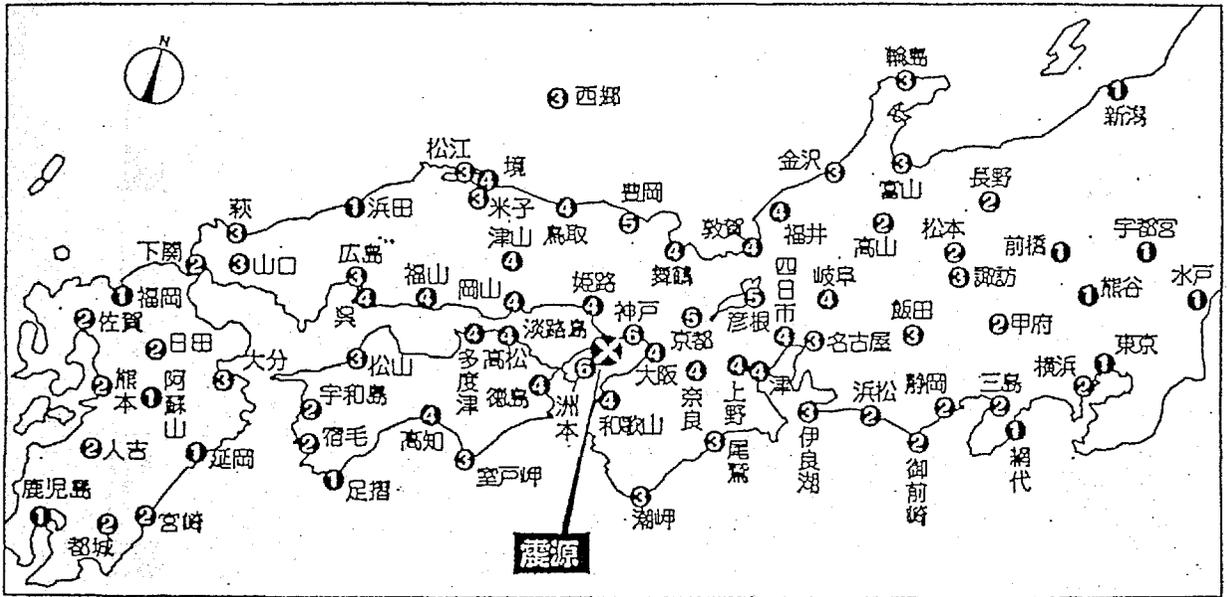
1995年



1月17日 5時46分

淡路島 震源 M7.2

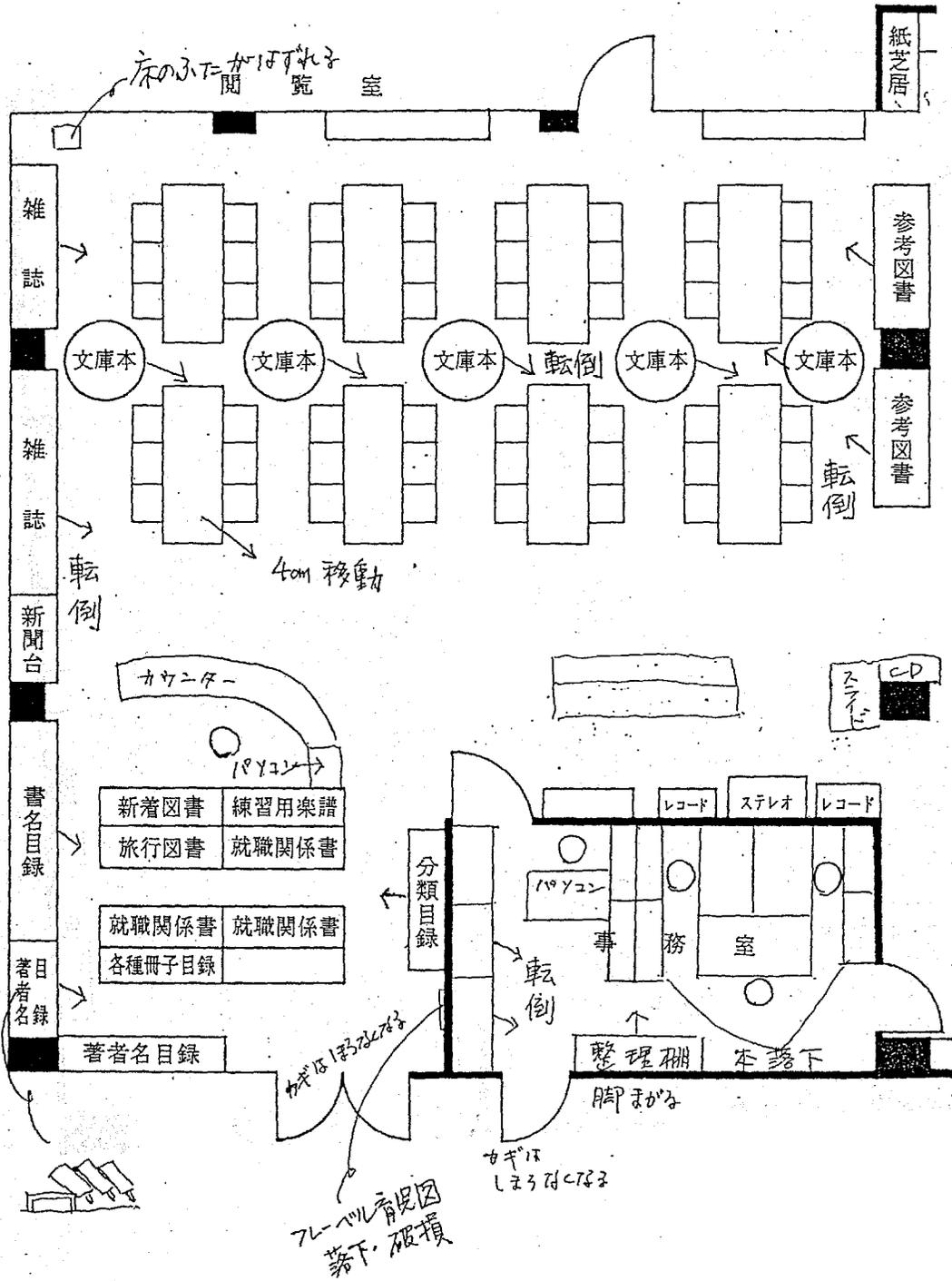
震度7 神戸



00096079310

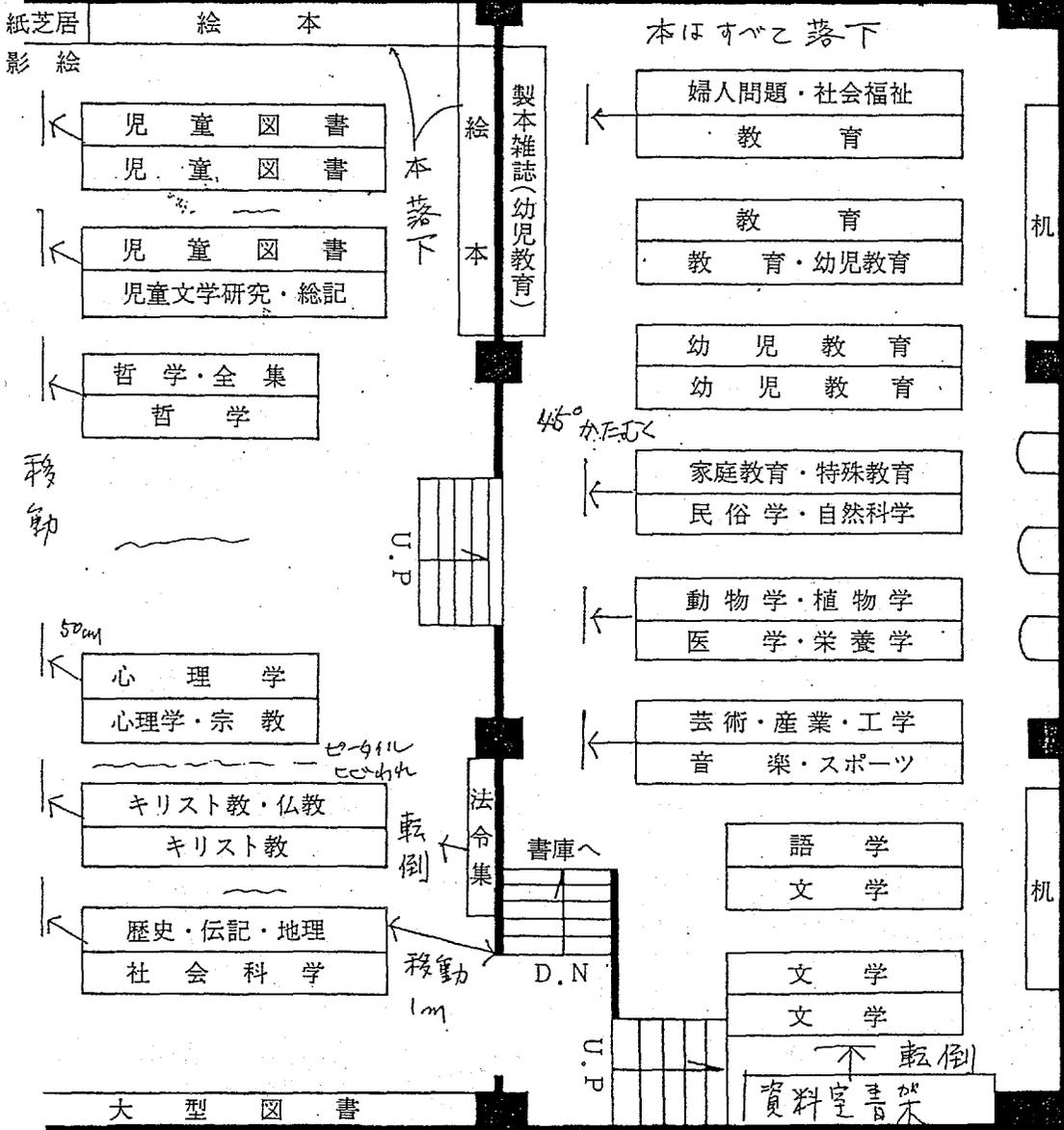
(1/17 朝日新聞より)

1. 震災当時の状況

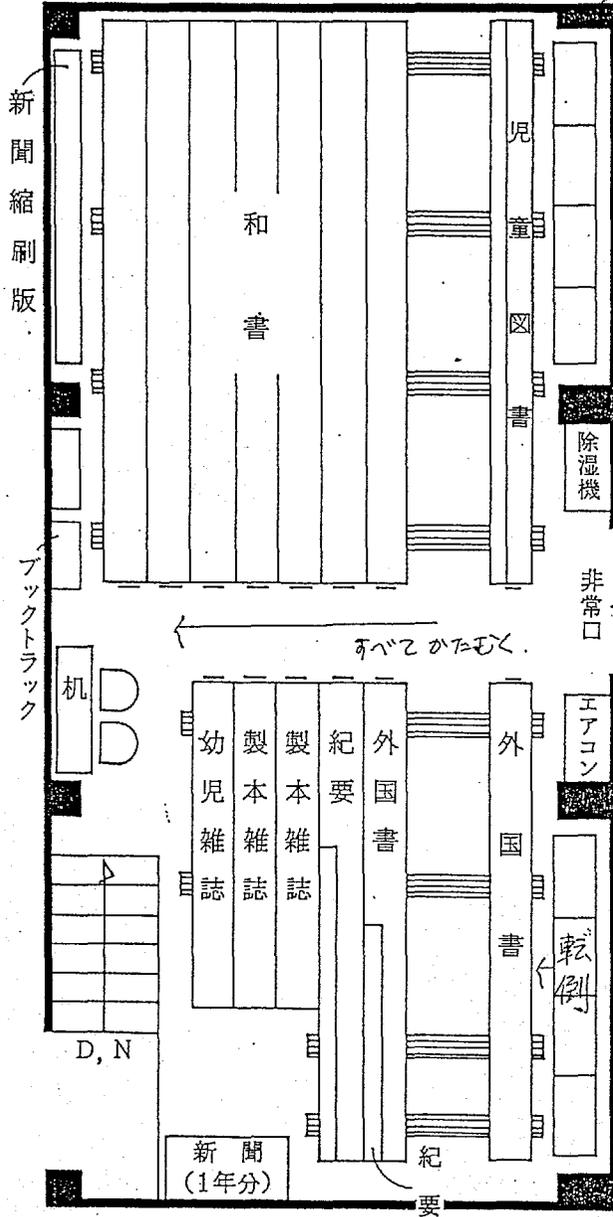


第1開架室

第2開架室



書 庫 (移動書架)

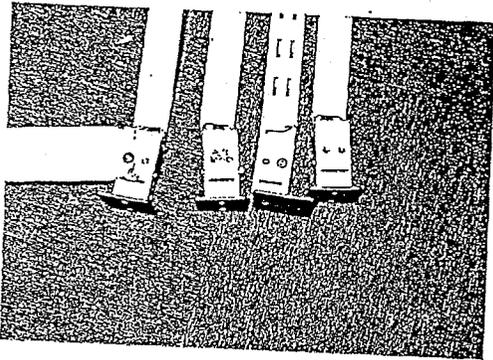




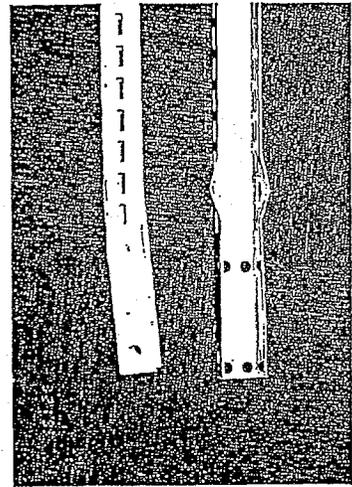
第2南架室



第2南架室



第2南架室の書架の柱



第2南架室

柱の壊れ

2. 被害状況

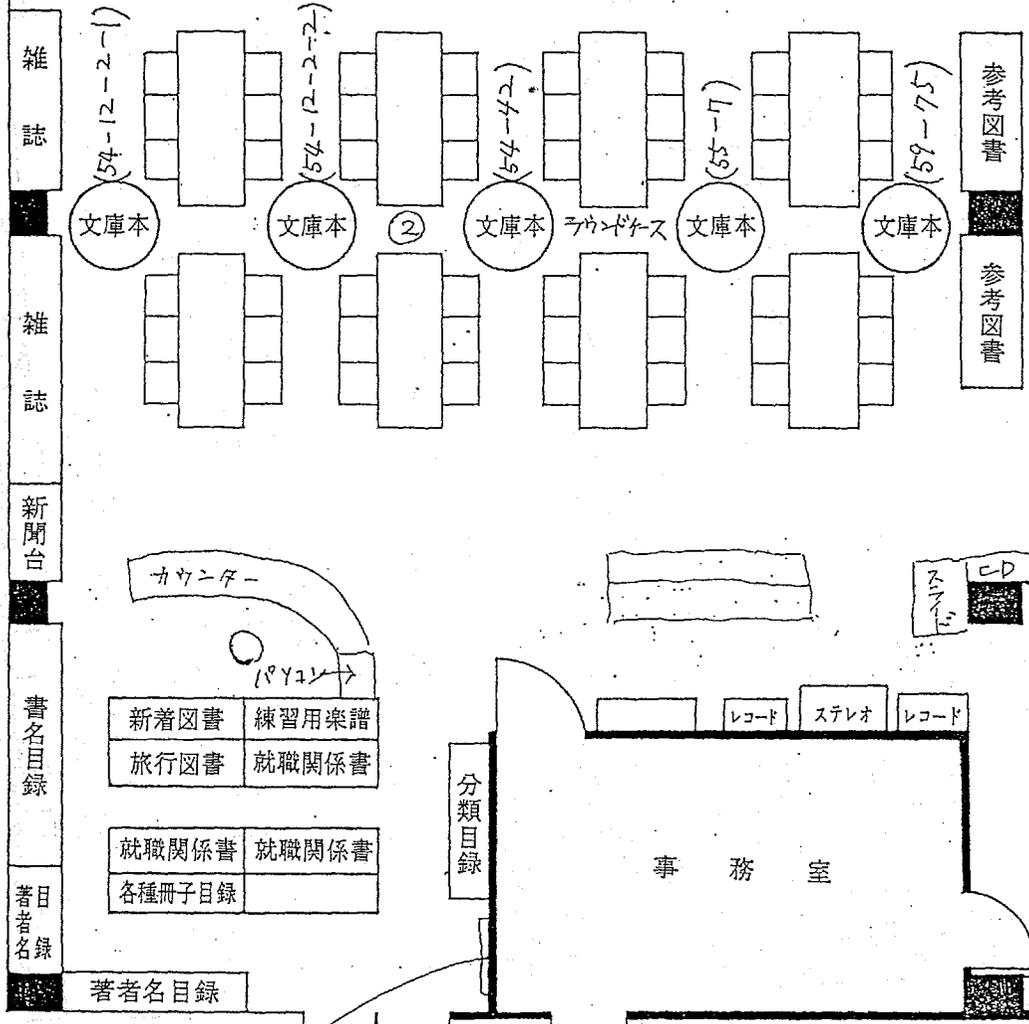
場所	備品	備品番号	購入時の金額
閲覧室	1. フレーベル育児図	55-8	100,000
	2. ラウンドケース文庫型	54-12-2-1	
		54-12-2-2	164,000
		54-42	82,000
		55-7	100,000
	59-75	121,500	
第二開架室	3. 複式型書架 8段7連 (54-35-9-1~9)	54-35-9-1	
		2	
		4	
		5	
		6	
		6	
		7	
		8	
		9	287,964
	複式型書架 8段5連 (54-27-11-1~11)	54-27-11-1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
	9		
	10	293,163	

書庫	4. 資料書架	58-45	
		58-47	
	5. 書架 7連複式可動式	64-3-8-1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	3,184,000
	書架 6連複式可動式	61-4-3-1	
		2	
		3	1,019,400
	書架 4連複式可動式	61-5-3-1	
		2	
		3	804,300
	書架 4連複式固定	61-6-2-1	98,000
事務室	整理棚		
	洗面台		
	鏡 (閱覽室)		
	總計		6,254,327

備品番号

閲覧室

紙芝居



① フレームル育児図 (55-8)

第1開架室

第2開架室

紙芝居
影絵

絵本

児童図書
児童図書

児童図書
児童文学研究・総記

哲学・全集
哲学

心理学
心理学・宗教

キリスト教・仏教
キリスト教

歴史・伝記・地理
社会科学

大型図書

製本雑誌(幼児教育)

U.P

法令集

書庫へ

D.N

U.P

③複式型書架

(54-35-9-7)(6)(4)(1)

婦人問題・社会福祉
教育

教育
教育・幼児教育

幼児教育
幼児教育

(54-27-11-4)(5)(54-35-9-9)
(54-27-1/-2)

家庭教育・特殊教育
民俗学・自然科学

(54-27-11-9)(10)(1)(54-35-9-8)

動物学・植物学
医学・栄養学

(54-27-11-6)(54-35-9-5)
(2)(54-27-11-3)

芸術・産業・工学
音楽・スポーツ

語学
文学

文学
文学

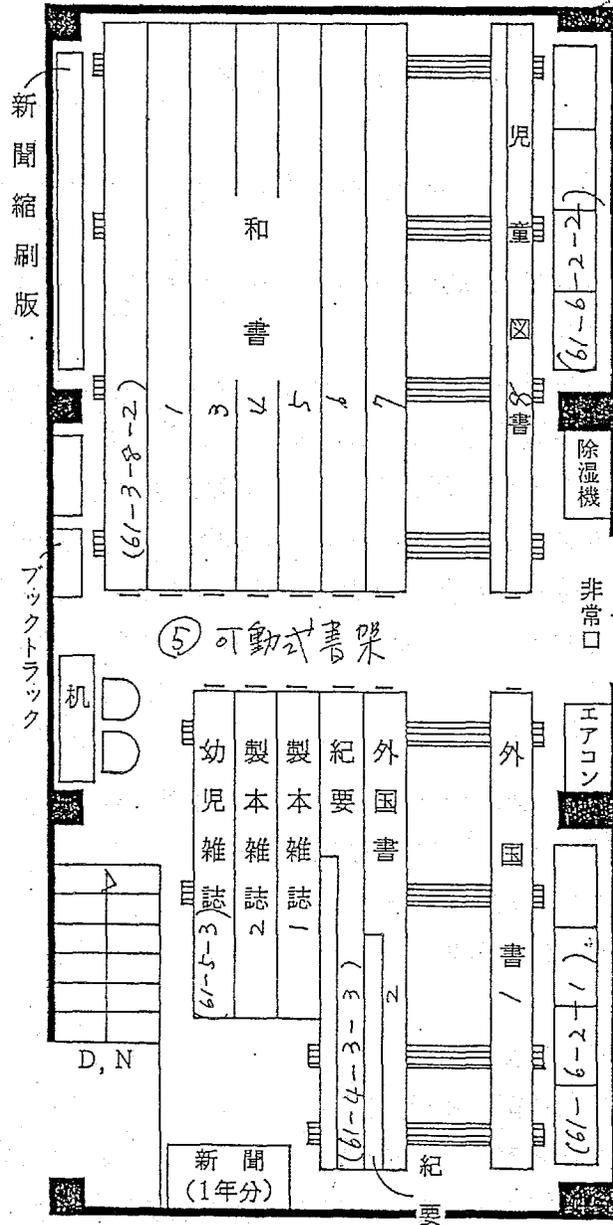
④資料書架

(58-47) (58-45)

机

机

書 庫 (移動書架)



3. 復旧作業

A. 復旧作業日程

1995年 1月17日	阪神淡路大震災 起こる 震度7
19～31日	館内の片付け
27日	ナカバヤシ（山路さん）ダンボール 150箱 届く
2月1～28日	書庫及び第二開架室の書架を修理するため 図書をダンボール箱に詰める
3日	日ノ本学園短期大学図書館・姫路短期大学図書館・兵庫女子短期大学図書館に当学学生の利用を依頼する
9日	ナカバヤシ ダンボール 150箱以上 届く
13日	レンゴ-よりダンボール 1000箱 届く
14日	奈良佐保女学院短期大学・仲井道子さん 震災見舞いが届く
16日	ナカバヤシ ダンボール 200箱 届く
3月3～10日	第二開架室の書架を解体 (使用出来るものは使用し、修理を行う)
23日	書庫の移動式書架の修理
24日	書架の棚入れ 掃除
29～31日	書庫 図書の配架
4月3～10日	書庫 図書の配架
7日	第二開架室 書架の組立
11～13日	第二開架室 図書の配架
14～27日	第一・第二開架室・文庫本 図書の配列
5月8日	学生のみが開館

6月1日	一般の人達に開館	
8月4日	図書館工学会 震災見舞い	LIBLOS届く休館 書庫の復旧作業
21日～	を行う	図書の配列
9月14日		
9月18日	学生だけに開館	
10月2日	一般の人達に開館	
11月8～9日	文部省・大蔵省・県の調査	
	復旧作業 終る	

B. 備品の修理および新規購入

場所	対照備品 (備品番号)	修理or新規	部品	金額
閲覧室	1. ラウンドケース 文庫型	修理	棚板 8枚	6,400
	54-12-2-1		7クリル 14枚	35,000
	54-12-2-2		ペーシング 4式	14,000
	54-42		消費税	1,662
	55-7			
	59-75			
	[業者 木原]			
第二開架室	2. 複式書架 8段	修理	16台 組立	48,000
	54-35-9-1			
	2			
	4~9			
	★壊れた書架を館員が解体し、使用出来るもので修復する 支柱が30本助かったのでこれで複式4連の書架が2台組める			
	3. 複式書架 8段	購入	複式書架	
			基本型2台	80,000
			連絡型6台	200,400
			搬入・組立	
			16台	48,000

書庫	4. 資料書架	修理	背当り50個	20,000
	58-45		引戸がらす 1	5,200
	58-47		引戸がらす枠含 む 1set	18,500
	5. 移動式書架	修理	天板 4	20,800
	61-4-3-1~3		61-6-2-1の 修理	
	61-5-3-1~3		支柱 20	44,000
	61-3-8-1~8		15=61-6-2- 1の修理	
	61-6-2-1		2=61-3-8-2 の修理	
			3=61-3-8-8 の修理	
			ベース 15	2,700
		61-6-2-1の 修理		
		下部転倒防止 装置 7set	28,000	
		部材交換費及 び調整費一式	130,000	
			総計	702,662

C. 震災見舞い（敬称略）

レンゴウ株式会社	ダンボール	1,000箱
	紙テープ	50巻

ナカバヤシ株式会社	ダンボール	500箱
-----------	-------	------

奈良佐保女学院短期大学		10,000円
仲井 道子		

図書館工学会	LIBLOS (77ト)	
--------	--------------	--

ジュンク堂書店	水 ボトル	2本
---------	-------	----

神大生協	水 ボトル	2本
------	-------	----

D. お世話になった人達（ボランティア） 敬称略

図書館（当学学生の利用を依頼する）

日ノ本学園短期大学図書館

姫路短期大学図書館

兵庫女子短期大学図書館

一般の人達

坂本勇（フレール育児図の修復の相談）

復旧作業のボランティア

黒崎朗平・黒崎正平・上島美里・玉木康子・金井知子・阿部星香・
辻るみ・柳（大谷）美紀

教職員

戸江茂博・谷本月子（ダンボール箱）

復旧作業のボランティア

黒崎史平・大谷恵子・谷本月子

学生復旧作業ボランティア（学生番号順）

専攻科生（16名）

浅野敦美・猪熊久美子・大川洋子・大村ひでこ・岡田亜紀子・清村
るり子・黒田奈穂子・桜井由里子・下川紀子・杉山明子・西海智子
・古本佐恵・水本由紀・宮松亜希子・森澤朋子・矢田谷紀子

2年生（9名）

磯部仁・井ノ上亮子・碓永真実・大田明子・大橋宏美・大平牧子・
大前ひと美・高橋苗・高橋英里

1年生(30名)

芦谷夕子・梅木真樹子・梅津由賀・大西留里子・生瀬佳奈子・小笠
千佳子・小野寺直子・加戸厚子・木寅有香・杉原久代・田中佐和・
田辺幸子・谷口知依・田野由紀子・辻井寿水・遠山利恵・豊田真理
子・中川加奈子・中島明子・中藤あすか・中村真由美・中村友紀・
沼田亜希子・萩尾奈央子・橋本郁子・東根あすか・細見祐子・前田
知沙・松岡まや・宮永早紀

E. まとめ

今回の震災は、当館にとって不幸中の幸いなことが多くあった。

1. 発生が早朝であった。

早朝であったため館内には人がいなかった。おかげで人的被害が無かった。

2. 書架がたまたま揺れの方向に配列してあった。

書架が将棋倒しにならずにすんだ。

3. 書架の置いてある床が一部ビータイルであった。

ビータイルはヒビ割れしたが、連結してある書架が揺れにそって1m位移動したため、書架は壊れず壁に当たりほぼ元の位置に戻っていた。図書も書架に入ったまま移動し落下しなかった。

4. 壁面にL字型にとめてある書架は、転倒しなかった。

以上のことで、当館の被害は少なくすんだ。

大きな被害として

1. 床にカーペットを敷きその上に置いてある書架

書架が移動できずに45度傾き菱型状態になったり、転倒したりして、支柱・棚板・棚受けが壊れる。

2. 移動式書架

揺れの方向に全部移動し、レールを乗り越えて転倒した。手動式でロックをはずしていたので修理ですんだ。

3. 壁にヒビが入り雨がにじみこむ。

復旧作業の方針として、壊れた書架は館員が解体し、使用出来るものは利用することで、ほとんど修理でき、新規に購入したのは複式4連の書架2台である。

図書が落下し本の海となったのはどことも同じで図書を元の位置に戻す作業はどことも苦労したはずである。

今後の対策として考えられることは

災害が起きたときには、まずその状況を記録するために必ず写真をあらゆる角度から撮って残しておくこと。

カーペットの上に置いてある書架は天板を横に繋あわせた。揺れの方向が変わらない限り将棋倒しにはならないだろう。揺れの方向が変わった場合も傾きの角度が少なくてすむと思う。

移動式の書架は、使用時以外はロックを外しておくことで、電動式ではないので揺れの方向に移動するはずである。転倒防止装置もついている。今のところ図書が落ちてくるのは仕方のないことだが、大きなケガにはむすびつかないと思う。

最後に多くの人達の助けによって、復旧作業が進められたことを感謝します。

頌栄短期大学図書館

〒658

神戸市東灘区御影山手1-18-1

(TEL 078-842-2541)